静脈インフラをITで創造する
JEMS
Japan Environment Management System

資源循環支援サービスのご紹介

― サステナブル経営の実現に向けて ―

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

会社概要

静脈インフラをITで創造する JEMS | Japan Environment Management System

パーパス	ビジョン
静脈インフラをITで創造する	経済環境と地球環境の共生

社名	株式会社JEMS（JEMS Inc.）
設立	1994年4月1日
代表者	代表取締役 須永 裕毅
本社住所	〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13
資本金	100,000千円
従業員数	347人（2025年10月時点）
子会社	EDISON HCM　CO.,LTD（ベトナムホーチミン市）
拠点一覧	つくば本社 / 本部 / 東京事業所 / 京都事業所 / 福島事業所 / 名古屋営業所 福岡営業所 / 神戸営業所 / 東北インテグレーションセンター / JEMS BPOセンター

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

導入実績

約30年間、排出および処理を行う企業のさまざまな業種でご利用いただいています。

排出企業（廃棄）

廃棄物ガバナンスから
環境経営を支えるパートナー

**環境マネジメント
業務支援サービス**

導入企業数

1,250社以上

aim SERVICES / ENEOSトレーディング / dic Color & Comfort / 東京建物 / TOYOTA / NIPPON STEEL / NX NIPPON EXPRESS / ひとのときを、想う。JT / YAMAHA

処理企業（処分）

資源循環・リサイクル業界に
特化した基幹システム

環境将軍®R

導入企業数

1,300社以上



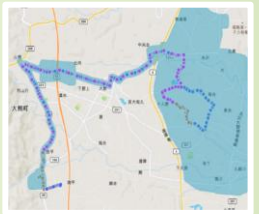
株式会社要興業 / 高俊興業株式会社 / Green & Clean NICHIWA / J&T 環境 株式会社

災害復興支援

トレーサビリティ技術を活用したシステムの提供により、災害廃棄物の適切な処理を支援した実績のほか、除染事業を支援



災害廃棄物処理支援



トレーサビリティシステム

行政 / 自治体

■環境省

令和4年度より、『産業廃棄物行政に関する疑義照会等の内容の整理及び分析等に関する業務』（入札案件）を継続して受託

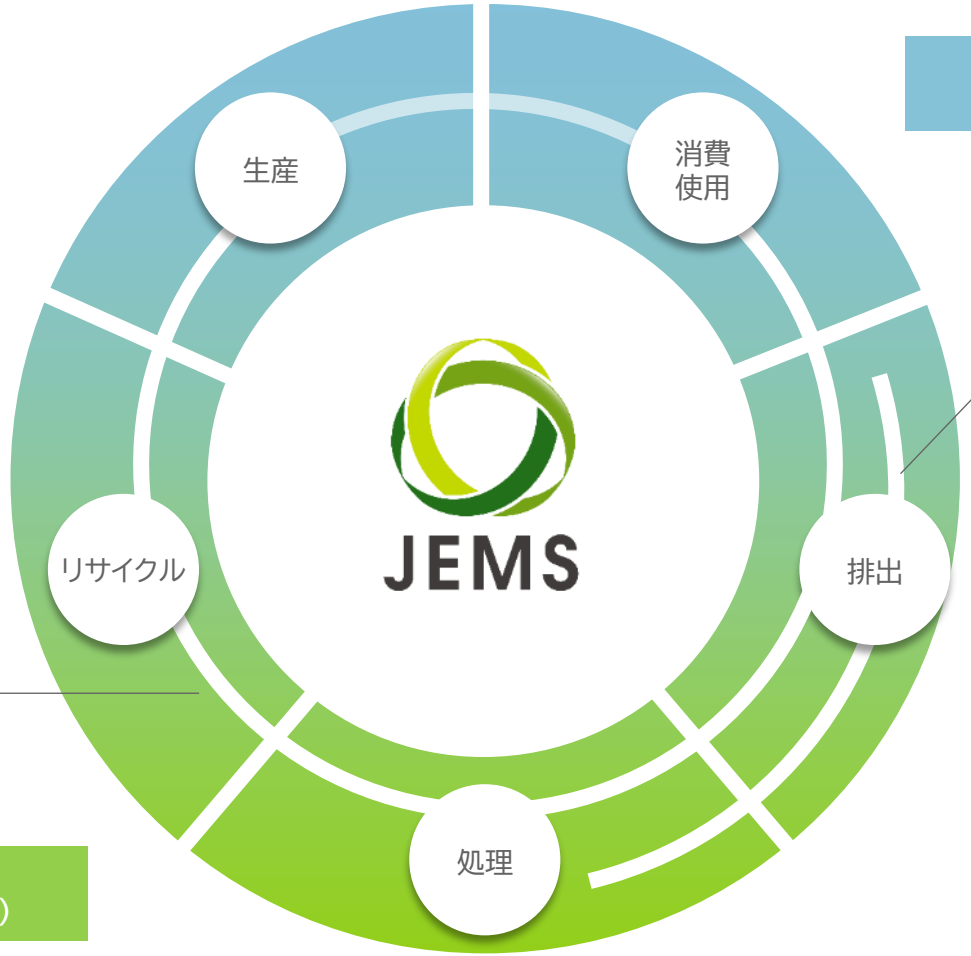
■そのほか省庁向け業務や自治体向け業務の受託実績あり（複数件）

※敬称略、五十音順、掲載許可をいただいた企業様をご紹介しています。
※2025年4月時点の累計導入企業数

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

環境マネジメント事業　概要

動脈産業から静脈産業※に至るまでのプロセスをITと有資格者によるアウトソーシングでトータルにカバー



川上
（廃棄物の発生）

廃棄物マネジメント支援

企業の環境コンプライアンスを
実現

資源循環支援

企業の環境目標達成支援を通じて
サーキュラーエコノミーを実現

川下
（廃棄物の処理）

※ゴミ・産業廃棄物などの回収と再利用をはかる産業。
製造業など製品を供給する産業を「動脈」にたとえ、そのリサイクルを「静脈」に見立てた表現。

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

環境経営が求められる背景

環境経営は「CSR（社会貢献）」ではなく、**「企業価値向上のための経営戦略」**へ。

廃棄物・資源循環への取り組みは、ESG、コスト削減、リスク管理を同時に進めるための重要な分野です。

社会構造の変化

- 気候変動による災害リスクの増大
- 資源枯渇と循環経済（サーキュラーエコノミー）への転換
- 廃棄物処理・リサイクルの仕組み再構築の必要性

法規制・企業責任の強化

- 排出事業者責任の強化、適正管理の高度化
- プラスチック資源循環法、バーゼル法改正 等、規制の強化
- 情報開示義務の拡大（環境データの透明性）

ESG投資市場の変化

- 投資家は「環境リスク管理」を企業評価の基準に
- 環境情報開示（GHG排出量・廃棄物排出量等）が企業価値に直結
- ブランド力・採用市場にも影響

実務への要求

- 省エネ・ゼロエミッション・リサイクル率向上などの数値目標化
- 証跡データの整合性確保（監査対応）
- 事業成長とコスト最適化を同時に達成する経営判断

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

資源循環が進まない4つの要因

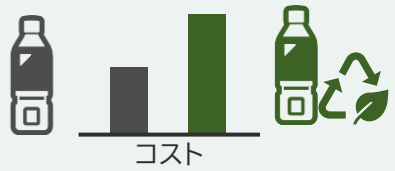
資源循環が進まない背景には、**経済性・循環スキーム・品質・関係者メリット**の4つの不足があります。

経済合理性の不足（コスト優位が発生しない）

コスト負担増
- 分別、回収、再資源化のコストが高い
- ブランドオーナーへのコスト負荷が高い

価格競争力の低さ
- リサイクル材の品質・価格がバージン材に比べて劣る

投資回収
- 投資回収期間が読みにくく、経営判断が遅れる

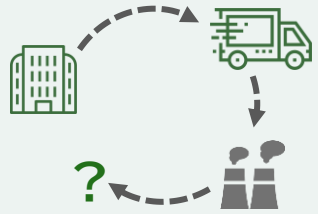


出口戦略の欠如（仕組み・連携の断絶）

受け皿の不足
- 再生材の利用先が限定的で、出口が確立していない

循環ループ構築の難しさ
- 自社単独では循環の仕組み（サプライチェーン全体のループ）を構築できない

法規制対応
- 法規制や認証制度が複雑で、ステークホルダー間の調整負荷が高い



品質の確保（技術と実務の壁）

分別の難しさ
- プラスチックや複合素材が増えており、適切な分別が難しい
- 製品設計がリサイクルを前提にしておらず、素材回収がしづらい
- 自動化技術が進んでも複雑な構造の分別は手作業が必要

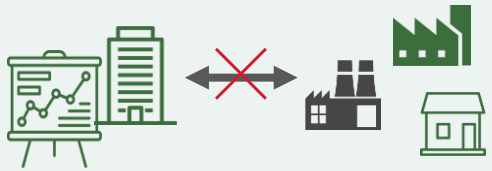
再生材の品質
- 分別が難しく汚れ・異物混入により、再生材の品質が安定しない



情報・評価の不透明性（メリットが見えない）

定量化評価の難しさ
- プレイヤー毎にデータが点在し、集約が困難
- コスト削減・排出削減の効果が見える化されていない
- 循環施策が利益・KPIにどう貢献するかが定量化されにくい

全体メリットが不透明
- ステークホルダー全体ににどんなメリット・負担が生じるかが共有されていない



Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

環境経営達成に向けた3つのフェーズ

環境経営の推進には、企業が直面する課題に応じたアプローチが必要です。
私たちは、その各フェーズに応じた最適な支援を提供します。

環境目標達成のための3つのフェーズ

リサイクル率の向上、環境負荷低減の取り組み

- 埋立量削減
- リサイクル率向上
- 水平リサイクル
- CO_2量削減
- LCA
- 有価化

現場の実態把握、改善可能性の評価

- 排出量
- 素材・性状
- 処理委託費用
- 有価売却実績
- 分別状況
- 集計・算出基準

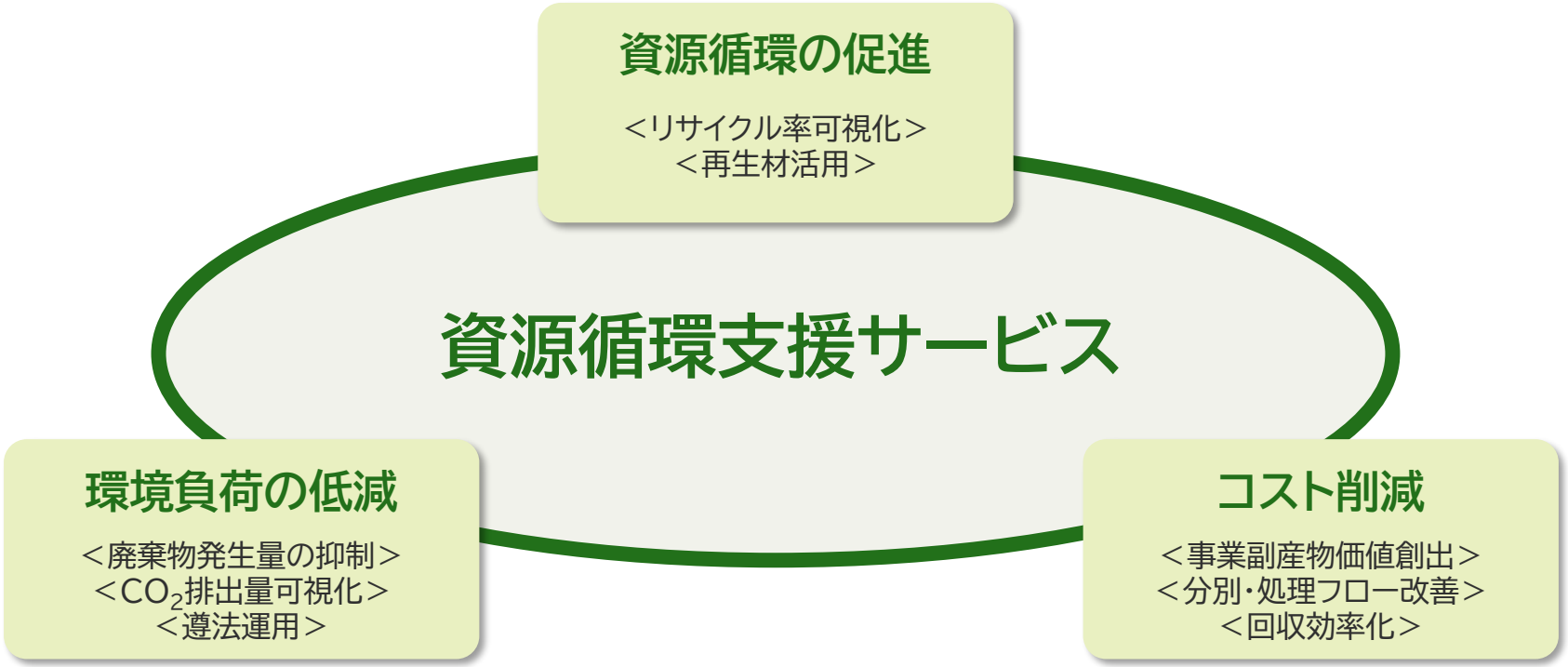
コンプライアンス強化、ガバナンス構築

- 業許可証
- 委託契約書
- マニフェスト
- 行政処分情報
- 自治体条例
- 行政報告

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

資源循環支援サービスとは

資源循環支援サービスは、企業のリサイクル率向上や環境目標達成を支援するコンサルティングサービスです。
廃棄物管理システムで30年以上培ったノウハウをもとに、
現状の可視化から仕組みづくりまでをワンストップでサポートします。



Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

支援メニュー

企業が3フェーズを着実に進められるよう、
「現状把握・分析」「改善提案」「実行支援」を組み合わせ、効果的な推進を図ります。

現状把握
データ収集・分析、可視化

分析・調査
得られたデータをもとにした深掘り調査

改善提案
最適な管理・運用スキームの提示

実行支援
施策実施、定着化の支援

ガバナンス強化

廃棄物の遵法運用管理支援（環境マネジメント業務支援サービス）

- 廃棄物管理クラウドシステム（GENESYS-ECOシリーズ）と有識者によるBPO
  - ・廃棄物処理フローの整備
  - ・委託契約書、マニフェスト、許可証の整合性チェック　他

ライフサイクル改善

各種データの取得、トレーサビリティ管理

- Circular Navi
- LCAシステム※
- リサイクルシステム※

運用実態診断・改善推進支援

-現場の運用実態を多角的に分析し、改善策の立案から実行・定着までを一貫して支援

- ・排出現場視察
- ・対象廃棄物の組成調査
- ・効果シミュレーション
- ・アクションプラン提案、KPI作成支援
- ・リサイクルスキーム再設計
- ・現場担当者への教育指導
- ・業者選定支援
- ・システムによる定点観測支援

広域認定取得支援

-広域認定取得に向けた循環スキームの検討・提案、申請支援

- ・対象品目の選定
- ・リサイクルスキームの再設計
- ・申請書類作成支援

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

※現在開発中（2026年リリース予定）

ご支援実績①:リサイクル率向上に向けた取り組み支援

不動産業

JEMS

現状を正確に「見える化」し、改善の起点をつくる

課題

廃棄物排出量のデータが管理物件ごと粒度が異なり整合が取れない。
リサイクル率の向上に向け、何かしらの取り組みを行いたい。
実施内容と想定される効果を確認したうえで取り組みに移行したい。

実施事項

対象物件における廃棄物排出量・再資源化率などの現状を定量的に把握
改善の方向性を示す「課題マップ」を作成

現状の可視化	分析	改善提案	実行支援
（調査対象物件における） ・排出現場視察（廃棄物排出状況確認、廃棄物の組成調査） ・現状の廃棄物処理フローの調査、課題事項の抽出	・資源化余地のある廃棄物を抽出 →資源化した場合のリサイクル率やコスト削減効果をシミュレーション	・分析レポートやシミュレーションをもとに改善施策一覧を提示	・廃棄物分別ルールの見直し ・現場担当者への教育指導 ・処理委託単価の見直し支援 ・横展開に向け、調査対象外の事業場でのアクションプランの策定支援

現場データを整理することで、環境経営の“出発点”を明確にします。

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

ご支援実績②：回収スキーム構築支援

自動車メーカー

JEMS

持続可能な「循環スキーム」を設計・実装

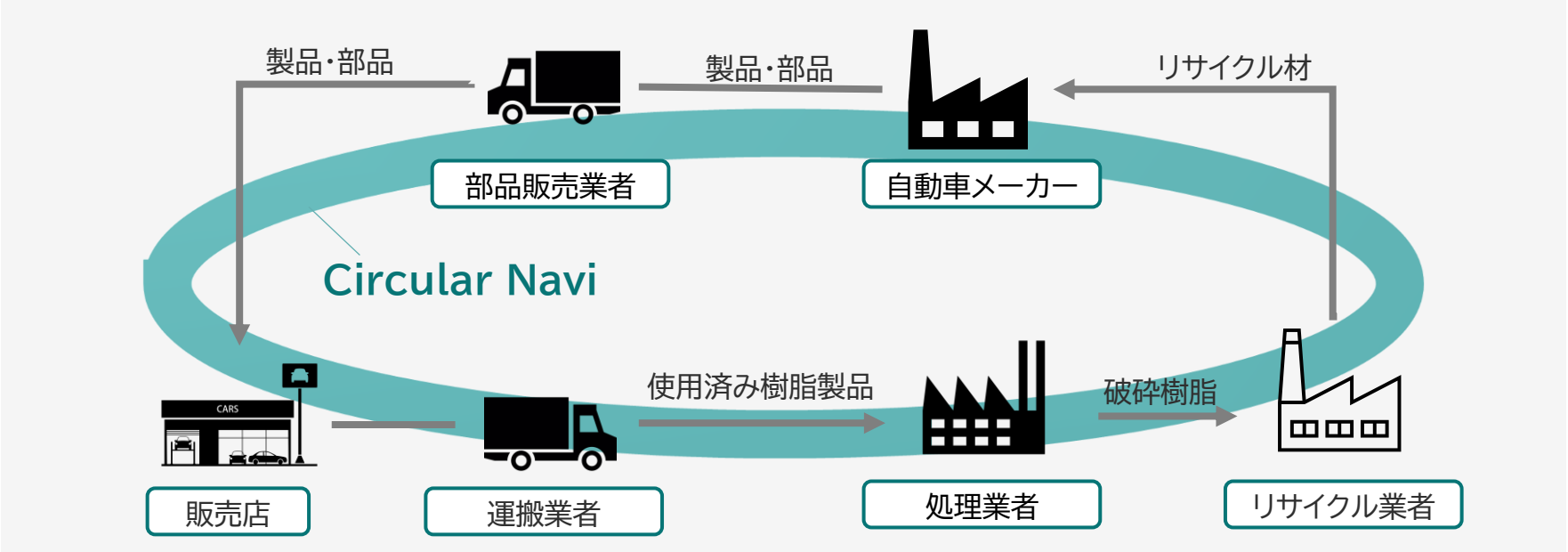
課題

欧州ELV規則を背景に、再生資源の量と質の確保が急務。
自動車産業における使用済み樹脂製品の再利用を促進したい。

実施事項

パートナー企業とともに、使用済み樹脂の効率的な回収方法を実証する。

樹脂製品回収～再生利用のイメージ図



現場の実情に即した“運用できる仕組み”をともに設計します。

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

ご支援実績③：広域認定取得支援

自動車メーカー

JEMS

制度の整理から申請・行政調整までを包括的に支援

課題

既存の使用済み樹脂製品回収スキームを継続しつつ、
廃棄物処理法に準拠した運用体制へ更新し、法令適合性と事業継続性を確保したい。

実施事項

廃棄物処理法に基づく広域認定制度の取得に向け、制度整理、申請資料作成、行政との調整を含む申請支援を実施。

STEP1

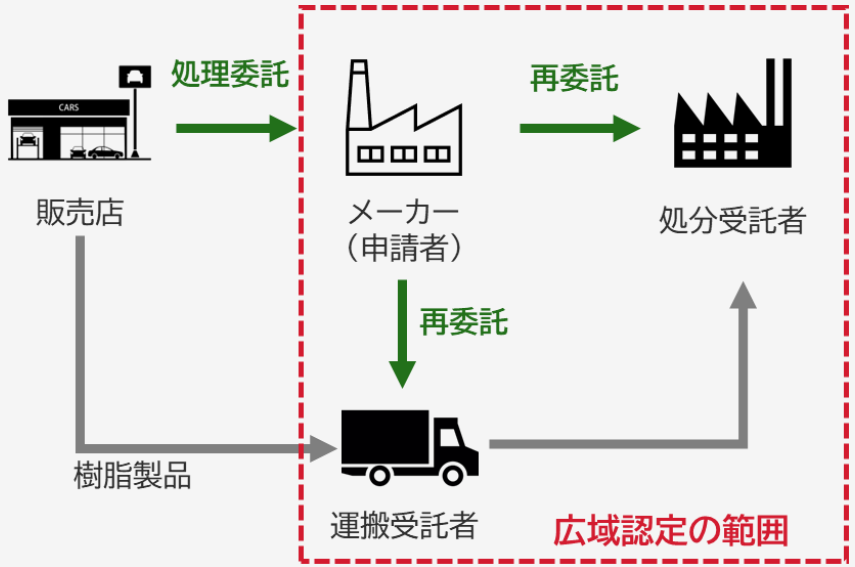
回収スキームの整理および関連法令に関する情報整理・提供

STEP2

広域認定申請に必要な資料の整理・準備サポート

STEP3

地方環境事務所等との協議に関する情報整理や対応準備の支援



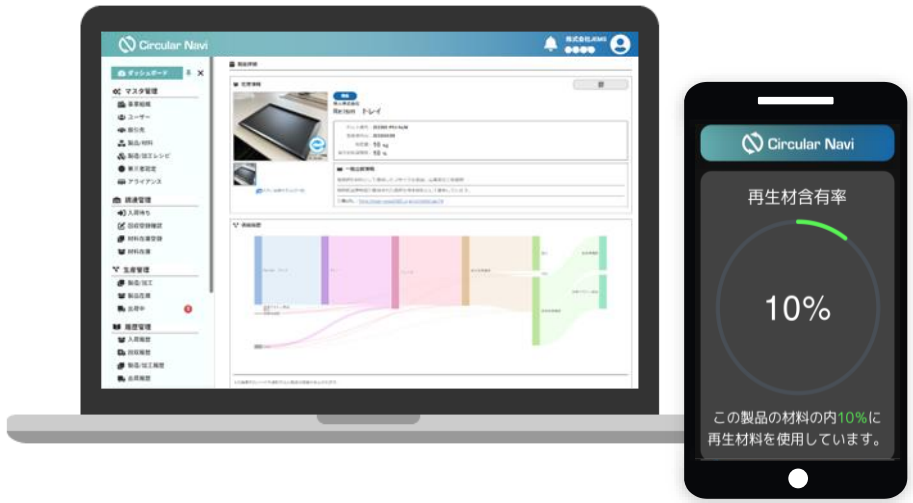
Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

サービス例：Circular Navi（サーキュラーナビ）

Circular Navi

企業活動における循環型サプライチェーンのトレーサビリティや再資源化率の可視化など、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを製品ごとに環境価値として照明するクラウドサービスです。

環境にかかわる情報を生活者を含むあらゆるステークホルダーに対して公開することで、企業価値の向上に寄与します。



活用事例

漁網由来の製品製造におけるトレーサビリティを証明

帝人株式会社、チムニー株式会社、JEMSはトレーサビリティに対応した漁網由来の再生ポリエステル樹脂製の配膳用トレーを共同で開発しました。





配膳トレーに印刷されている二次元バーコードをスマートフォンで読み取ることで、トレーの元となる漁網が使用されていた漁港や回収・製造を行った企業情報、トレーを生産した際に発生したCO_2の排出量などの情報を確認することができます。



配膳トレー

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

導入ステップ例

導入ステップ例（運用改善診断・改善推進支援）

KPI再定義	情報収集	分析	効果測定	結果報告	改善推進支援
1か月程度	1～3か月程度		1か月程度	1か月程度	1か月～
• ヒアリングの上、取組の目的や目標を再整理 • 評価指標の再設計（例：処理コスト/リサイクル率　等）	• 排出現場にて、排出状況、品目を確認 • 担当者ヒアリング • GENESYS-ECOやその他廃棄物情報（請求書/契約書）等の調査	• 現地調査、書類調査の情報を整理、分析 • リサイクル率の向上やコスト削減の可能性のある品目を抽出	• 抽出品目に対し、具体的な施策を検討 • リサイクル率やコスト削減効果をシミュレーション	• 報告書作成 • 報告書提出・説明 • アクションプランの検討 • 具体的な施策の実行支援案を提示	• 決定した施策の実施支援 - リサイクルスキーム再設計 - 処理業者変更支援 - 教育、分別指導　等

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.

静脈インフラをITで創造する

JEMS

Japan Environment Management System

株式会社 JEMS　環境マネジメント事業部

サーキュラーエコノミー推進部　https://www.j-ems.jp/env-mgt/

東京事業所　〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-16-5 ヒューリック神田ビル8F
TEL:03-5289-3421　FAX:03-5289-3422

BPOセンター　〒305-0031 茨城県つくば市吾妻4-19-10
TEL:050-2018-7667　FAX:050-3606-5440

つくば本社　〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13
TEL:029-863-7215　FAX:029-863-7216

Copyright ©2026 JEMS Inc. All rights reserved.